

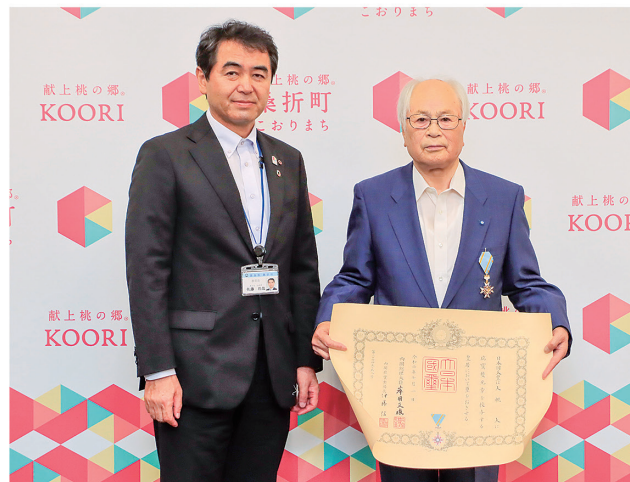


▲（左から）高橋町長、榊監督、羽根田監督、佐藤教育長。それぞれの目標に向かって気持ちを高める両監督

「第18回市町村対抗福島県軟式野球大会」および「第11回市町村対抗福島県ソフトボール大会」に出場する桑折町チームへの激励金贈呈式が9月11日、役場で行われました。軟式野球チームの榊友紀博監督は「強豪相手だが初戦突破を目指す」、ソフトボールチーム

の羽根田太陽監督は「新メンバーの打撃を軸に1勝を」と、それぞれ抱負を話しました。野球チームは9月22日にほばら大泉球場で棚倉町と対戦、ソフトボールチームは10月6日に相馬光陽ソフトボール場で大熊町と対戦予定。試合の様子は次号以降に掲載します。

軟式野球・ソフトボールチームへ 健闘祈り激励金贈呈



▲佐藤教育長（左）より勲記・勲章の伝達を受け「身が引き締まる思い」と話す大槻さん（右）

子どもの教育振興に尽力 大槻太さんに叙勲

高齢者叙勲「瑞宝双光章」を授与された大槻太さんの伝達式が8月28日、役場で行われました。式では、佐藤浩哉教育長から、勲記と勲章が伝達され、感謝の意が表されました。

大槻さんは、国見町梁川町大枝小学校（現在は閉校）をはじめ、伊達町立（現

伊達市立）東小学校や国見町立藤田小学校の校長を歴任し、37年にわたり教育振興のために尽力されました。退職後は、町の体験活動・ボランティア活動支援センターのコーディネーターとして、小中学生の「自ら学び考える力」を育みました。



▲若年性認知症と診断された夫とその妻が、さまざまな困難を乗り越えていく物語に自分自身を重ねて鑑賞する参加者の皆さん

認知症への理解を深め、地域での支え合いを推進するため、若年性認知症を題材にした映画「オレンジ・ランプ」の上映会が9月8日、イコーゼで開かれ、約90人が参加しました。

上映会では、実話を基に描かれた心に響くストーリーに涙する参加者もあり、認知症本人や家族の想いを知る機会となりました。また、認知症症状がもたらす日常生活への影響を実際に体験できる「認知症VR体験」も行われました。映画や体験を通して、認知症とともに生きる地域を考えるイベントとなりました。

認知症について理解を深める 映画「オレンジ・ランプ」上映会



▲佐藤教育長（左）より位記・勲記・勲章の伝達を受け「家族ともども感謝の気持ちでいっぱいです」と話す妻・玲子さん（右）

子どもの健全育成に尽力 故・坂内明生さんに叙位叙勲

死亡叙位叙勲「正六位」および「瑞宝双光章」を授与された故・坂内明生さんの伝達式が8月28日、役場で行われました。式では、佐藤教育長から、位記、勲記および勲章の伝達が行われ、妻の玲子さんに手渡されました。

坂内さんは、二本松市立

安達太良小学校をはじめ、月舘町立月舘小学校現在は閉校）や伊達市立伊達小学校の校長を歴任し、37年にわたり教育振興のために尽力されました。退職後は、町社会教育指導員や伊達崎・半田公民館長、地域クラブの指導者を務め、子どもの健全育成に寄与されました。

広告

広告

広告